

「核廃絶訴えたい」8月ジュネーブへ



「高校生平和大使」に選ばれ意気込みを語る松尾美雨さん＝兵庫県庁

兵庫の「高校生平和大使」
武庫荘総合高3年・松尾美雨さん

核廃絶や平和な世界の実現を訴える「第26代高校生平和大使」に兵庫県内から武庫荘総合高校（尼崎市）3年の松尾美雨さん（17）が選ばれ、23日、県庁で意気込みを語った。8月にスイス・ジュネーブの国連欧州本部に派遣される予定で、「自覚と責任を持って頑張りたい」と力を込めた。同大使は1998年、インドとパキスタンが相次いで核実験を行ったのを受け、長崎県の平和団体が発案。新型コロナウイルス禍前は例年、軍縮会議が開かれ

る国連欧州本部を訪れ、核廃絶を訴える署名を届けるなどしてきた。同本部への派遣は4年ぶりで松尾さんを含め全国の高校から選ばれた22人が参加する。

松尾さんは戦前生まれの祖父母から空襲などの戦争体験を聞き、悲惨な出来事を繰り返してはならないとの思いから大使に応募した。ジュネーブでは非政府組織（NGO）の代表者らと意見交換するほか、英語でスピーチする予定。「広島と長崎に原爆が投下されて今年で78年。各国の人たちに核廃絶を訴えたい」と話している。

（大橋凜太郎）